

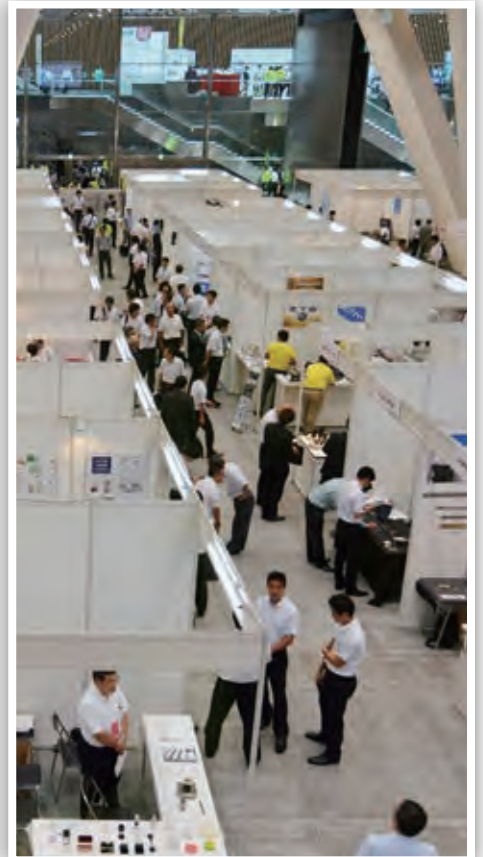


2013



“よい仕事おこし”フェア

in 東京国際フォーラム 8/6・7



“よい仕事おこし”フェア事務局

C O N T E N T S

◆「2013 “よい仕事おこし”フェア」の概要	2
◆ 1.開会式の様子	4
● 吉原理事長が挨拶・根本復興大臣から来賓代表挨拶を	4
● 小泉元総理などの方々から祝電も	4
◆ 2.各ブース等会場の様子	5
〈地下2階展示ホール、地下1階ロビーギャラリー、地下広場〉	
● ビジネスエリア	5
● 東北支援・特産品エリア	6
● 子供マジカル・ミステリーツアー&こども記者	6
● 地上広場のキッチンカーにも行列が	7
● 来場者、出展者からの声	8
◆ 3.各種イベントの様子	10
〈B棟5階ホール「復興応援ステージ」〉	
8月6日(火)	
● ダンスパフォーマンス「輝け! 福島の若者たち」	10
福島県立光南高校応援団&チアリーダー部/郡山の「スタジオダンスヘッド」より、小学生と中高生の2チーム/福島県いわき海星高校チーム「じゃんから」	
● シンポジウム「未来への福島、そして脱原発」	11
岩崎理事長(財団法人グリーンクロスジャパン)、ナタリー事務局長(グリーンクロス・スイス) 広瀬隆、桜井南相馬市長、吉原理事長、ウェイベル国会議員、坂本龍一、藤波心	
● トーク&ライブ「フェスティバル FUKUSHIMA! プレイイベント」	13
坂本龍一、大友良英	
8月7日(水)	
● 福島応援トークショー「福島復興への願い」	13
佐藤B作、中村獅童、ゲスト:松平保久(会津藩第14代当主)、MC:唐橋ユミ	
● 夢(ドリーム)ブランプレゼンテーションin 2013“よい仕事おこし”フェア	14
● オープニング コンサート:佐藤英里	14
● 第1部:「夢・東北」プレゼンテーション	14
岩手県洋野町:株式会社ひろの屋/宮城県東部沿岸:一般社団法人チガノウラカゼコミュニティー 福島県相馬市:NO DONCO NO SOMA(ノードンこ、ノ一相馬)/宮城県亘理町:工房あえり	
● 第2部:「理想の会社」プレゼンテーション	15
小机支店/チーム入新井(株式会社北村ポールト)/銀座もとじ 啓太ドリームズ(株式会社銀座もとじ) チームタマチ(タマチ工業株式会社)/チーム業務本部	
〈B棟7階ホール〉	
● 就職合同説明会	16
● 信ちゃん&ゆるキャラが各所で大活躍!	17
◆ あとがき	17

「2013 “よい仕事おこし”フェア」の概要

開催日時

平成25年 8月6日(火) 10:00～18:00
8月7日(水) 10:00～16:00
(平成25年 8月5日(月) 18:00～21:00(内覧会))

会場

東京国際フォーラム(展示ホール1・2 / ホールB5・B7 / ロビーギャラリー / 地上広場)

主旨

日本は、産業の空洞化や少子高齢化等、経済、社会の様々な面で難題が山積しており、さらに、東日本大震災からの復興は遅々として進んでおらず、福島第一原子力発電所の事故については、収束の目処すら全く立っていません。

こうした中で、昨年は、63の信用金庫共催により、企業や行政機関、教育機関等、高い志や理想を持った社会の各層を一堂に会し、新たな“つながり”や“絆”を結ぶ機会をご提供して、結びつき、助け合いの中から、国民経済の活力を取り戻すために、東京ドームにおいて「日本を明るく元気にする“よい仕事おこし”フェア」を開催いたしました。このフェアを通じて築かれたコミュニティの輪をより大きく、また、人と人の絆をより深く、より強いものとし、日本を夢と勇気と笑顔であふれた社会にしていくことを目的として、今回、「日本を明るく元気に」「MORE 東北 もっともっと応援」をテーマとして、「2013 “よい仕事おこし”フェア」を開催いたしました。

協賛

会津信用金庫、青い森信用金庫、秋田信用金庫、あぶくま信用金庫、石巻信用金庫、一関信用金庫、羽後信用金庫、大阪市信用金庫、大阪東信用金庫、岡崎信用金庫、北上信用金庫、岐阜信用金庫、京都信用金庫、京都中央信用金庫、気仙沼信用金庫、郡山信用金庫、白河信用金庫、新庄信用金庫、須賀川信用金庫、仙南信用金庫、鶴岡信用金庫、東奥信用金庫、二本松信用金庫、花巻信用金庫、浜松信用金庫、ひまわり信用金庫、広島信用金庫、福島信用金庫、水沢信用金庫、宮城第一信用金庫、宮古信用金庫、盛岡信用金庫、杜の都信用金庫、山形信用金庫、米沢信用金庫(以上35信用金庫)

後援

復興庁、経済産業省関東経済産業局、経済産業省東北経済産業局、東京都、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、杉並区、中野区、川崎市、横浜市、南相馬市、宮古市、東松島市、石巻市、気仙沼市、いわき市、中小企業基盤整備機構関東本部、東京商工会議所、東北六県商工会議所連合会、全国信用金庫協会、東京都信用金庫協会、東北地区信用金庫協会、信金中央金庫

協力

一神商事株式会社、岩手日報社、株式会社エービーシー商会、株式会社NHKアート、河北新報社、KALDI COFFEE FARM、株式会社近畿日本ツーリスト商事、グランドプリンスホテル新高輪、株式会社ぐるなび、グローリー株式会社、航空食品株式会社、株式会社三香園商店卸部、三昌商事株式会社、株式会社JR東日本リテールネット、株式会社JTB商事、株式会社JALUX エアポート、株式会社ダイエースペースクリエイティブ、株式会社高島屋、タカセ株式会社、株式会社東急百貨店、東京新聞、東和電気株式会社、株式会社ドン・キホーテ、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会、株式会社ファミマ・ドット・コム、フードマーケットエコ・ピア、福島民報社、株式会社福島屋、フジサンケイビジネスアイ、富士通コワーコ株式会社、ベニースーパー、株式会社三越伊勢丹、株式会社三越伊勢丹ギフト・ソリューションズ、株式会社三越伊勢丹通信販売、株式会社三越伊勢丹フードサービス、株式会社ヤマダコーポレーション、株式会社大和、ヤマト運輸株式会社、ヤマトホームコンビニエンス株式会社、楽天株式会社、株式会社ローソン、ローレルバンクマシン株式会社

場 内

出展小間417ブース

●ビジネスエリア (274 ブース)

①機械、金属、電子 製造90 ブース②加工技術38 ブース③印刷・その他製造32 ブース

④IT・情報通信30 ブース⑤健康・医療・福祉・環境20 ブース⑥建設・土木36 ブース

⑦その他28 ブース

●社会関連エリア (43 ブース)

①行政関連11 ブース②学校関連6 ブース③社会福祉団体3 ブース④その他団体等16 ブース

⑤海外7 ブース

●東北支援・特産品販売エリア (57 ブース)

●東北支援・飲食店エリア (8 ブース)

●バイヤーエリア (35 ブース)

イベントステージ (開会式、出展者PR等)

特別展示4カ所 (下町ボブスレー、千石船、福島応援、東京ガス、THK免震デモ機)

免震体験コーナー、マッサージ機体験コーナー、マジシャンスポット、ジャグリングスポット

当日来場者数

37,815名 (6日:21,012名、7日:16,803名)

事前商談申込件数

2,888件

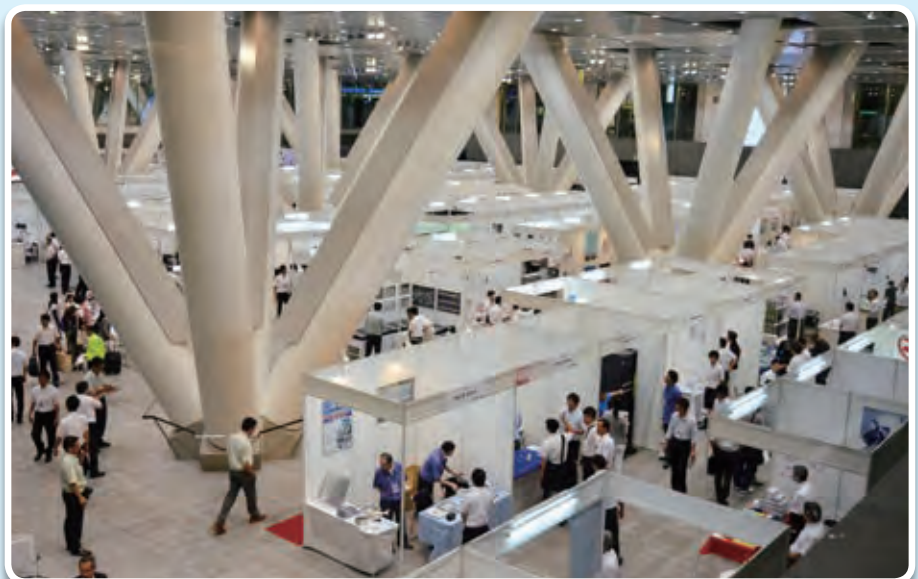
昨年11月1日(木)東京ドームで行われた「日本を明るく元気にする“よい仕事おこし”フェア」に引き続き、去る8月6日(火)、7日(水)に東京国際フォーラムで第2回目のフェアが、2日間にわたって開催されました!

今回は**東北地方全27金庫を含む35信用金庫にご協賛いただき、復興庁をはじめ多くの後援と協力のもとにフェア**

を開催。東京国際フォーラム地下2階展示ホールおよび地下1階ロビーギャラリーにて「ビジネスエリア」「東北支援・特産品エリア」、B棟5階ホールにて「復興応援ステージ」、B棟7階ホールにて「就職合同説明会」、地上広場には東北ご当地グルメのキッチンカー、と多彩な企画を展開しました。こういった展示やイベントの様様をwebでリアルタイムに動画配信する試みなど、会場外へもフェアをPRしました。

企業・団体など417ブースが出展、

来場者数は2日間で37,815名に上りました。当フェアは東京駅にも近い都心のオフィス街に行くビジネスマンの目を引き、また東北物産の販売や子供マジカル・ミステリーツアーなどで、会場は夏休みの親子連れでも賑わって、企業と企業、人と人、数多くの“新しい出会いを創造する場”となりました!!



1.開会式の様子

吉原理事長が挨拶・根本復興大臣から来賓代表挨拶を

9時30分から地下2階展示ホール中央の特設ステージで行われた開会式には、**根本匠復興大臣ほか来賓4名が登壇**。**吉原理事長の挨拶に続いて、来賓を代表して根本復興大臣、佐藤雄平福島県知事（代読：内堀副知事）、安藤経済産業省関東経済産業局長からご挨拶をいただきました。**

吉原理事長は、挨拶の中で「昨年に引き続き、今年も『MORE東北 もっともっと応援』をテーマに、全信協や東京都、東北6県など多方面からのご協力のもと、『2013“よい仕事おこし”フェア』を開催させていただくことができました。銀行とは違って、地域を守り、地域の方々に幸せにするという信用金庫の公共的使命として、少しでも東北の皆様のお役に立ちたい。先月私も飯館村や南相馬市を訪問してまいりましたが、被災地の復興はまだまだ遅々として進んでおりません。今日は8月6日、ヒロシマ原爆投下の日でもあります。唯一の被爆国であるにもかかわらず、また福島原発事故後の現実にも目をつぶり、原発再稼働を急ぐ政財界の動向は信じ難いものです。今こそ、日本が誇る中小

企業のものづくり技術力を結集し、原発即時停止とともにガスや太陽光ほか再生可能エネルギーなど多様な技術による『分散型電力ネットワーク社会』を構築することで、未来の子供たちのために、原発のない平和な世の中、『誰もが夢と希望と笑顔にあふれた日本』、『世界に誇れる日本』を実現していこうではありませんか」と力をこめて、今回のフェアの意義を語りました。

根本復興大臣からは、来賓挨拶の中で「安倍内閣も被災地復興を日本の経済再生における最重要課題と位置づけ、復興庁を中心にさまざまな政策に取り組んでいる最中だが、被災地の産業再生に向けた企業活動の活性化は、こうしたビジネスフェアをはじめ民間からの活力が支えている」と激励の言葉をいただき、また、**佐藤福島県知事**の「全国の皆様のお力添えで、福島の産業・観光の復興は着実に進んでいる。今日福島県から参加した27の企業、団体から、福島のがんが伝われば」という感謝と期待をこめたメッセージも紹介されました。



根本復興大臣



内堀福島県副知事



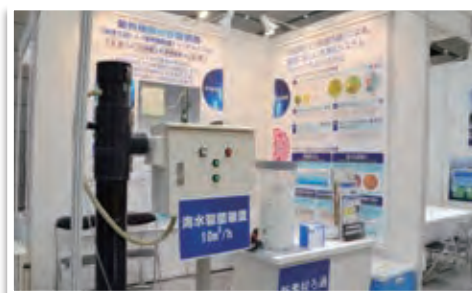
小泉元総理などの方々から祝電も

さらに、小泉純一郎元内閣総理大臣よりいただいた祝電が披露されたほか、山本太郎参議院議員、全国信用金庫協会大前孝治会長、信金中央金庫田邊光雄理事長、東京都信用金庫協会佐藤浩二会長、坂本龍一様、松平健様、コロツケ様、里中満智子様、石塚英彦様、佐藤B作様、中村獅童様、唐橋ユミ様をはじめ多くの皆様からお祝いの言葉を頂戴していることが紹介され、最後に来賓の方々等5名によるテープカットのセレモニーが行われ、2日間にわたる“よい仕事おこし”フェアが開幕しました。



2.各ブース等会場の様子

ビジネスエリア



商談に訪れたビジネスマンはもちろん、夏休みということで東北物産の販売に並ぶ親子連れ姿も多く見られ、大変賑わいました！ また、地下1階の「東京新聞」のブースでは、こども記者を募ってフェアの取材を体験したり、「子供マジカル・ミス

テリーツアー」と題し、会場内を回りながらゲームやクイズをクリアすると、販売コーナーで使用できる商品券や景品がもらえるイベントを行ったり、大人から子供まで幅広く興味を持ってお過ごしいただけたのではないのでしょうか？

東北支援・特産品エリア



子供マジカル・ミステリーツアー&こども記者



展示ホール内に設置された巨大スクリーンでは、B棟5階ホール「復興応援ステージ」の様子がライブ中継され、フェアご来場のお客様にお立ち寄りいただけるようイベントをご紹介します

ました。こうしたフェア各所の様子は、東京新聞「国際フォーラム特別版」として1日2回発行され、来場者に配布されました。



地下2階展示ホール特設ステージ横に設置された、「下町ボブスレー」プロジェクトのディスプレイ



「下町ボブスレー」について取材中!



東京新聞のブースで新聞づくりの説明を受けることも記者

地上広場のキッチンカーにも行列が

「横手やきそば」や「八戸せんべい汁」、今年初登場の「会津ソースカツ丼」、盛夏に相応しく東北限定のジェラートなど、東

北のご当地グルメが並んだキッチンカーは、オフィス街のランチタイムとも重なり行列ができました。



地上広場には、耐震/免震建築構造の違いを体験できる「免震カー」も設置されました。



来場者、出展者からの声

当日の会場では、多くの商談が行われました。



■ 出展者B社 担当者様

お陰様で、ブースを訪れたお客様に「CCFL」と「LED」の違いなど詳細な説明を行ったり、フェアの後、お見積もりのご要望をいただくなど、実現の可能性が高い商談に巡り合うことができました。このような場を設けていただき、さらに親切、丁寧にご対応いただきました事務局の皆様のお力添えに深く感謝申し上げます。

■ 東北ブース出展者E事務所 担当者様

昨年の秋に続き2回目の出展となり、東日本大震災復興支援のための日本企業の底力や人々の熱意を感じ、有意義な時間を過ごさせていただきました。また、2日間で多くの方にご来場いただき、本市の紹介と関係者との商談を実現することができました。新たにこうした出会いの機会をご提供くださったことに、心より感謝いたします。また、出展期間中、スタッフの皆様方にいろいろと親切にご対応いただき、本当に心から御礼申し上げます。

■ 東京都 総務局被災地支援課 担当者様

「2013 “よい仕事おこし”フェア」の開催、お疲れ様でした。私も初日に不運でしたが、たいへん大規模で、来場者も多く、素晴らしい催事でした。また、今回は「ふくしま⇄東京キャンペーン」を大々的に取上げていただき、ありがとうございました。私どもでは、これからもさまざまな団体様と連携しながら、被災地の復興支援に取り組んでいきたいと考えております。今後とも、引き続きよろしく願いいたします。

■ 出演者H校 担当者様

このたびは、復興支援企画に出演の場を与えていただいた生徒ともども、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。いろいろな場面でお気遣いいただき、本当に言葉では表せない感謝の気持ちでいっぱいです。また、当日のステージ写真もいただきまして、大変恐縮しております。子供たちもよい夏の思い出ができたのではないかと思います。

当日、会場で皆様からかけていただいたあたたかいお言葉を大切に、これからも頑張っております。

■ 就職合同説明会出展者K社 社長様

このたびは、就職合同説明会に出展させていただきました、ありがとうございました。

お陰様で、2日間で70名の方々と面接することができました。そのうち1名は即戦力と判断し、内定を出しました。また、その他数名も採用を検討しております。この企画のおかげで優れた人材を確保することができました。こういった人材の紹介や提案を継続してまいりますよう、お願いいたします。

■ 来場者 L様

信用金庫の皆さんが、今、めざしている世界がそこ（東京国際フォーラム）にあった気がします。元気をいっぱいもらいました。

これからも、地域のために、日本を明るく元気にするために、頑張ってください。どうもありがとうございました。

多数の商談が成立！

- ▶ (株)JTB 商事から、成田空港の売店で商品を取扱う旨の連絡があり、交渉中である。
- ▶ (株)JR 東日本リテールネットから、東京駅のお土産売り場にて商品を取扱う旨の連絡があり、商談を進めている。
- ▶ 過去に取引していたが、現在取引が無くなっていた先がブースを訪問してくれ、取引が再開できそうです。
- ▶ ブースで面談した企業が、フェア終了後すぐに工場見学に来た。現在商談中である。フェアの効果は本当にすごい。



- ▶ 今まで不可能と思っていた加工技術を持った企業と出会うことができ、今後新たな業務に広がる可能性を見出せた。
- ▶ 今回出展することにより、さまざまな業種の方からご来場・アドバイスをいただいて自社の強みや弱みがよく分かった。
- ▶ 今回の出展を契機に、「ホームページ」を開設した。
- ▶ 飲食業を経営しているが、東北の珍しい食材・酒等を仕入れられるルートができた。
- ▶ 地元から東京に進出するきっかけを作ることができた。
- ▶ 全くつながりのなかった官公庁や、大手パイヤーとのルートができた。
- ▶ 今まで全くと言っていいほど接点のなかった異業種との交流ができ、世界が開けたような気がしている。特に、ニッチな分野の企業とつながりが持て、大変有意義であった。
- ▶ 他のフェアと比較にならない規模の来場者で、多くの新規先とつながりができ大満足です。

ビジネスエリア、東北特産品エリア… 各ブースで新たな出会いが



中小企業をPR する大変よい機会

- ▶ 素晴らしい技術を持っていても、中小企業にはその技術を広くPRする場所・術がない。信用金庫は本当に中小企業の味方です。是非毎年やってください。
- ▶ 東京だけではなく、横浜でも開催してほしい。
- ▶ 「就職合同説明会」は大変素晴らしい企画であった。現在面接を計画中である。学生に中小企業を知ってもらう大変いい機会であった。
- ▶ 出展者サポーターをさせていただいたが、自社をPRするお客様の強い意気込みを感じ、身が引き締まる思いであった。お客様のために尽くしたいと心から思った。
- ▶ 来場者から、「このようなイベントを開催する姿勢に感銘を受けた。是非お取引を始めたい」という言葉もらった。
- ▶ 出展した取引先と3日間行動をともにすることにより、本当にお客様との絆が深まった。

3.各種イベントの様子

B棟5階ホール「復興応援ステージ」

B棟5階ホールでは、「復興応援ステージ」と題し、さまざまなイベントが催されました。白石みきさん司会のもと、福島県在住の小中高生が披露するダンスパフォーマンスを皮切りに、マジックショーなどを挟みつつ、スイスからの福島視察団や坂本龍一さん、大友良英さんなど多方面からゲストをお迎えして“福島の今”について語り考えるシンポジウムやトークショー、登壇者の理想とする生き方・“よい仕事”の在り方をプレゼンす

る夢（ドリーム）プランプレゼンテーションと、バラエティに富んだプログラムがフェアを盛り上げました！

福島の元気と、脱原発をめざす各団体の活動、仕事おこしから日本を活性化しよう！という意気込みが生き生きと伝わってくるステージに、客席の皆様からも熱い共感の拍手をいただきました。（各種イベントは、当金庫ホームページから動画でご覧いただけます！）

8月6日(火)

ダンスパフォーマンス
輝け！福島の若者たち 10：30～12：00

イリュージョンマジックショー 日本奇術協会 12：30～13：00

シンポジウム
「未来への福島」 スイス視察団 with 坂本龍一
出演：坂本龍一、桜井勝延（南相馬市長）、広瀬隆、Yae、藤波心、吉原毅（城南信用金庫理事長）、スイスより政治家を含む30人の福島視察団、（財）グリーンクロスジャパン 14：00～17：00

トーク&ライブ
「プロジェクトFUKUSHIMA プレイベント」 18：00～20：00
トークセッション：坂本龍一×大友良英
ゲスト：遠藤知絵
アコースティックライブ&トーク：大友良英×テニスコート
ゲスト：アサノコウタ

8月7日(水)

ふくしま八重隊ショー 10：00～10：15

福島応援トークショー
「福島復興への願い」 佐藤B作 × 中村獅童 10：30～11：30
MC：唐橋ユミ ゲスト：松平保久

「チームキビタン」ダンスショー 11：30～12：00

「天使の歌声」全盲のシンガーソングライター
佐藤英里（ひらり） ピアノ弾き語り 12：00～12：30

プレゼンテーションイベント
夢（ドリーム）プランプレゼンテーション in 2013 “よい仕事おこし”フェア 12：30～15：30

第一部：夢・東北プレゼンテーション 12：30～13：45
第二部：理想の会社プレゼンテーション 13：55～15：30

8月6日(火)

ダンスパフォーマンス「輝け！福島の若者たち」 10時30分～12時

福島県立光南高校
応援団&チアリーダー部



郡山の
「スタジオダンスヘッド」より、
小学生と中高生の2チーム



福島県立いわき海星高校
チーム「じゃんがら」



シンポジウム「未来への福島、そして脱原発」 14時～16時50分

歌手のYaeさん司会のもと、ミュージシャンの坂本龍一さん、広瀬隆さん、南相馬市の桜井勝延市長、女優の藤波心さん、スイスから来日された福島視察団の皆様、財団法人グリーンクロスの皆様が参加され、当金庫の吉原理事長も登壇して、原発再稼働をはじめ核エネルギー問題と日本の



(左から)Yaeさん、広瀬隆さん、桜井市長、スイスのトーマス・ウェイベル国会議員、吉原理事長

展望をめぐり、今後のエネルギー利用と福島のあり方についてシンポジウムを行いました。

岩崎理事長 (財団法人グリーンクロスジャパン: 環境保全に対しグローバルな取組みを継続)

「地球を守り次の世代へ、持続的な活動で未来を築く。新聞・TVなどメディアの報道はごく一部、または政治力が働きネガティブな情報にあふれて、フクシマの人々は風評被害にも苦しんでいる。自分の目と耳で、ポジティブな情報、明るい話題をつくっていききたい。今日はそういった前向きなシンポジウムになれば」

ナタリー事務局長 (グリーンクロス・スイス)

「20年にわたって、当団体はチェルノブイリ事故関連の社会的・技術的・医療的支援を続け活動してきた。福島原発事故は改めて原発に関してリスクゼロはありえないということを明白にした。被害を次世代に渡さないために、事故から学び、エネルギー効率を上げていかなくてはならない」



スイス視察団
ナタリー事務局長

広瀬隆さん

『原発再稼働と日本の未来』について

電力使用状況や福島原発周辺地域の最新の放射能測定値など詳細なデータを交えたレポートがありました。

「明るい話題を、と先ほど言われたが、まず現状を把握してからでない。政治家や学者はちゃんと数値(現実)を見ていない。再稼働を求めるなら、高レベル放射性廃棄物をどこに処分するのかその都道府県を言ってもらいたい。原発は即時停止すべき」



広瀬隆さん

桜井南相馬市長

「福島第一原発の事故から南相馬を取り戻したい。ただ今を生きるのではなく、与えられた生命を、地域を、どのように次の世代につなげていくかが問われている」



桜井南相馬市長

吉原理事長

「政・官・学、マスコミをはじめ、日本社会は金の力に取りこまれて、自分本位に陥り生き方が狂いかけている。将来の子供たちや日本を築いたご先祖に誇れるような健全で幸せな社会を遺すためにも、スイスのみなさんや客席の方々も一緒になって解決策を考えていきたい」

ウェイベル国会議員 (スイス:チューリヒ大学でも教鞭を取る)

『**原発代替エネルギーの経済学～スイスの場合**』

地球温暖化や石油輸入先の政情不安などにもかかわらず、90年代と比べても輸入額が倍増しているほど石油依存度の高いスイスの現状を指摘するとともに、ソーラー/風力/地熱といった再生可能エネルギーの代替可能性についてご説明されました。



トーマス・ウェイベル氏



ウェイベル国会議員と吉原理事長

「温暖化問題も踏まえ、分散的なエネルギー供給体制を促進し、省エネ発想に切り替え、私たちの基本的な生活スタイルそのものを見直していかなくてはならない」

当シンポジウムの模様は国籍問わずご参加いただけるよう同時通訳サービスも行い、質疑応答の時には活発な意見交換が見られました。

引き続き、坂本龍一さん、藤波心さんのトークが行われました。



坂本龍一さん

「こういった活動を表現するのに音楽は使いたくないが、みな考えるべき重要な問題である。未処理の核廃棄物は非倫理的だ。原発が存在し続ければ、地震やテロ攻撃でまた大変危険な事態を引き起こすだろう。都会の人間は、原発がないと電気が止まってしまうという『電気欠乏恐怖症』に陥っている」

藤波心さん

「TVなどで報道されていても、学校の友達は無関心。自分自身の生活にも関係するはずなのに、今困っている人たちもたくさんいるのに、もっとできることがあると思う」



坂本龍一さん



藤波心さん

トーク&ライブ「フェスティバルFUKUSHIMA!プレイベント」18時~20時

8月15日(木)に福島市で行われた、フェスティバルFUKUSHIMA!「納涼!盆踊り」に先立って開催されました。

まず、坂本龍一さんとNHK『あまちゃん』の音楽を担当している大友良英さんの対談に、「プロジェクトFUKUSHIMA!」のメンバーである遠藤知絵さんが加わり、福島復興へ向けこれまでの活動状況と福島の今後について、トーク・セッションを行いました。

続いて、大友さんとバンド:テニスコーツによるアコースティック・ライブ。独特のスピリチュアルなメロディが響き、福島

へ想いを馳せます。演奏後、「プロジェクトFUKUSHIMA!」の活動に携わる建築家のアサノコウタさんも一緒に行ったトークでは、終始、大友さんの飾らないお人柄が感じられ、参加された皆様の福島への愛情が伝わってくるものでした。

プロジェクト FUKUSHIMA!

震災後、福島県出身/在住のアーティストが中心になって結成。“祭り”を通して、人々が集いコミュニケーションを取れる場をつくり、“FUKUSHIMA”という言葉が、明るく、ポジティブで、希望の象徴となるよう活動を続けている。



坂本龍一さん×大友良英さん



「プロジェクトFUKUSHIMA!」の遠藤知絵さんを交えて



大友良英さん×テニスコーツ×アサノコウタさん

8月7日(水)

福島応援トークショー「福島復興への願い」10時30分~11時30分

フリーアナウンサー唐橋ユミさん司会のもと、福島県を舞台にしたNHK大河ドラマ『八重の桜』に会津藩家老役で共演している佐藤B作さん(田中土佐役)、中村獅童さん(佐川官兵衛役)、会津藩第14代当主松平保久さんにお越しいただき、撮影のエピソードなどを交えながら福島復興への想いを語っていただきました。

原発事故の影響に苦しむ故郷に言及しつつ、「役者をやっていた初めて、福島訛りを気にせずに芝居ができる!」と客席を沸かせる佐藤さん、そしてMCの唐橋さんは、同じく福島県ご出身ということで松平さんとともに「いまフクシマは世界中に注目されている」と語りました。中村さんも、「福島の視聴者の方に少して

も笑顔になってもらえるように、力強く官兵衛を演じた」と役作りについてお話しくださしました。

会場に用意された福島県応援の寄せ書きボードに皆様から激励のメッセージをいただきました。佐藤さんは福島弁で「俺も頑張るから皆も頑張らんしょ」、中村さんは「明るい未来に向かって一緒に突っ走ろう」、唐橋さんは福島弁で「何とかなるさ」という意味の「さ



唐橋ユミさん



佐藤B作さん



中村獅童さん



松平保久さん

すけねえ」、松平さんは「前向きに。ならぬ事はならぬものです」と、会津藩校『仕の掟』から引用して、それぞれ書きこまれました。

夢(ドリーム)プランプレゼンテーションin 2013 “よい仕事おこし”フェア 12時~15時30分

全盲のシンガーソングライター ^{ひらり}佐藤英里さんのコンサートで開幕。白いドレスを纏った12歳のあどけない笑顔からは想像もつかないほど、大人びて情感豊かな歌声に魅了されます。

被災地の避難所で歌うなど震災直後からボランティア活動にも取り組んでいる佐藤さん、「大人も子供も口ずさんでもらえるような歌を作りたい」と夢を語り披露してくれたオリジナル曲「なないろの夢」は、未来への希望にあふれた力強いナンバー

で、ドリームプランプレゼンテーションのオープニングに相応しいポジティブな1曲でした。

フェアの翌日アメリカへ遠征され、エントリーしたコンテストで優勝されたとのこと。佐藤さんおめでとうございます。



第1部:「夢・東北」プレゼンテーション 12時30分~13時45分

平成23年3月11日東日本大震災発生の瞬間を生々しく伝える記録映像から始まった第1部は、震災被害から立ち上がり

東北地方で経済復興をめざす中小企業・団体4社より、事業の夢について語るプレゼンテーションをしていただきました。

① 岩手県洋野町: **株式会社ひろの屋**

「北三陸世界ブランドプロジェクト、最大のピンチを最幸(さいこう)のチャンスに変える!」

^{したうつぼ}
株式会社ひろの屋 下苧坪 之典 様

漁村地域の漁師や生産者の生活改善と自立をめざし、「北三陸の海男児」ブランドをアピール。



② 宮城県東部沿岸: **一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ**

「『湾の駅』~日本に自慢できる美味しい湾をつくる~
地域の自慢を発見、育てる、繋げる、そして未来へ伝える」

^{のりあき}
一般社団法人 チガノウラカゼコミュニティ 津川 登昭 様

松島湾域自治体共通の拠点「湾の駅」をつくり、独自商品や観光ソフトの開発に取り組む。



③ 福島県相馬市: **NO DONCO NO SOMA (ノーどんこ、ノー相馬)**

「掘り起こせ! そうま!
海を掘り起こす編『どんこ』がなきや『そうま』じゃない!」

^{おそにわ}
相馬市でギフト小売業紀の国屋を営業 獺庭 大輔 様

相馬の水産業を守るために、地元の魚「どんこ」の加工業をおこす。



④ 宮城県亶理町: **工房あえり**

「我が町亶理に再び人々を」

工房あえり 佐藤 美津子 様

美味しくて身体にやさしい100%米粉パンのお店。県の観光PRキャラクター「むすび丸」をデザインしたパンが、亶理町復興のシンボルに。



第2部：「理想の会社」プレゼンテーション 13時55分～15時30分

第2部は、「理想の会社」をテーマに、金庫内から2チーム（小机支店・業務本部）、お取引先から3チーム（株式会社北村ボルト・株式会社銀座もとじ・タマチ工業株式会社）が登壇。理想の会社、理想の仕事に懸けるこだわりや熱い想いを、客席にプレゼンテーションしました。

2日間繰り広げられた「復興応援ステージ」のラストを締めくくるに相応しく、舞台も客席も一体となって大いに盛り上がりました！



① 小机支店

「地域のスマイルプロジェクト、最高のチームワークでお悩みを笑顔に変える会社」

小机支店：山蔦 圭一 支店長

「一つ一つの出会いを大切に」「働く仲間が一体となり」「相手を思いやる気持ちを持つ」



② チーム入新井（株式会社北村ボルト）

「Pride of Japan ひとつのネジが世界を変える」

株式会社北村ボルト 北村 岳 様

ネジ専門商社である同社の、ネジがもつ無限の可能性に懸ける想いをPR。



③ 銀座もとじ 啓太ドリームズ（株式会社銀座もとじ）

「着物を再び根付かせる。カッコいい着物、こどもが親に着てほしい着物を創る」

株式会社銀座もとじ ^{もとじ けいた} 泉二 啓太 様

ロンドンやパリでファッションを学び、着物の世界に生きる彼は、今後何を見出すのか？



④ チームタマチ（タマチ工業株式会社）

「武士スピードウェイでロックオン！ サバイバルレースをモノにするのはタマチプライドだ！」

タマチ工業株式会社 米内 淨 様

超精密部品製造・加工の技術力で、モータースポーツでの高速・高馬力エンジン部品の供給を行う。

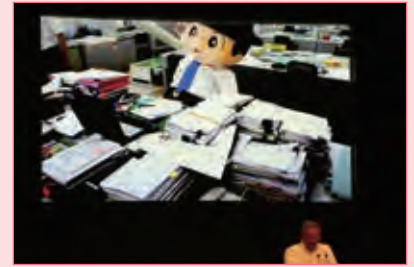


⑤ チーム業務本部

「日本一風通しの良い、活気に溢れた理想の会社プロジェクト
役職員の明るさ、前向きな姿勢こそ、地域社会を元気にします！」

大塚 健一 副理事長

地域の営業店で、職員一人一人が明るく、前向きに、
元気に活動できるよう陰で支えるのが業務本部。



最後、ステージ上に揃った全チームのメンバーに、会場から惜
しめない拍手が贈られました。

どのチームも、BGMやスライド1枚1枚に至るまで
こだわりが感じられ、発表にあたったプレゼンターを
盛り立て、今の自分たちの夢・想いを伝えたいという
意気込みにあふれていて、舞台から発信される前向
きなエネルギーが大変清々しく気持ちのよいステ
ージでした！

プレゼンをされたみなさん、練習の成果を存分に発揮されて
いらっしゃいましたね。本当にお疲れ様でした！



B棟7階ホール:就職合同説明会

“大企業だけでなく、世の中には色々な企業・さまざまな仕事
があることを知ってほしい”という趣旨のもと、「ものづくり」や
独自の分野に取り組む元気な中小企業を中心とし98社が集
った就職合同説明会も、フェアの期間中2日間にわたって開催
されました。

各社採用担当者から説明を受ける就職希望者の真剣な眼
差しが印象深く、通常のビジネスフェアのような企業と企業の
マッチングだけでなく、人と企業、人と人との出会いも数多く生
まれた貴重な機会となったのではないのでしょうか。



信ちゃん&ゆるキャラが各所で大活躍！

我らが信ちゃんほか、東北地方のゆるキャラ：八重たん、キビタン、ももりん、あかべえ、お城ボくん、のまたんが勢揃いして、地上広場や地下1階のロビーギャラリー、地下2階展示ホールの入り口でお客様をお出迎えしたり、子供たちとふれあった

り、お笑いユニット「みちのくボンガーズ」とフェア場内の特設ステージやB棟5階ホールで楽しいパフォーマンスを披露したり・・・フェア2日間、会場を上へ下へ大活躍してくれました！！



あとかき

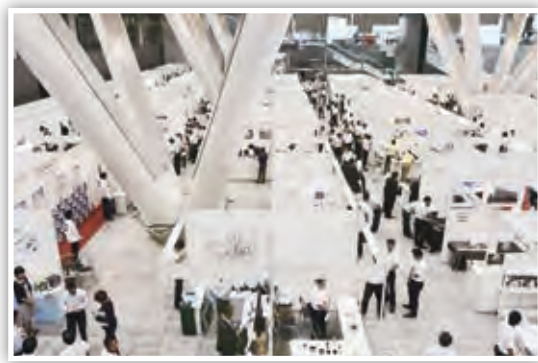
みなさん、今年は2日間にわたって開催された2013「よい仕事おこし」フェア、本当にお疲れ様でした！

今回の成功も、真夏の猛暑の最中、東北地方のため、自分ではなく他の誰かのために想いながら、全力で取り組んでくださった関係者のみなさんのご尽力の結果に他なりません。ありがとうございました。

来年以降のフェアも、みんなの力を合わせて大成功させ、お取引先、地域の方、関係する全ての方々と“夢”と“感動”と“笑顔”を分かち合えるイベントに育てていきましょう！



※会場でご来場みなさんに寄せ書きいただいた応援メッセージは、福島県に贈呈させていただきました。



2013“よい仕事おこし”フェア